



名古屋市立大学病院 救急・災害医療センター(仮称) 西側外観イメージ図(→P1)

特集

特集① 日経グローバル地域貢献度ランキングで 全国トップの評価!

特集② 救急・災害医療センター(仮称)建設に向けて、立体駐車場工事進行中!

特集③ テレビ・新聞で大きく報道!
～東部医療センター・名市大病院のコロナ対応～

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 05 学生の活躍
- 06 表彰関連/国際交流
- 07 イベントカレンダー/受賞関連/寄附顕彰/教員著書・発行物紹介

DONATION

あなたの力が支えます ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ: 事務局大学管理部総務課

tel.052-853-8005



01

日経グローバル地域貢献度ランキングで 全国トップの評価！

2021年10月4日(月)発行の日経グローバルにて、「大学の地域貢献度に関する全国調査2021」の結果が発表され、総合ランキングにおいて本学が初の全国トップの評価を得ました。本調査は、全国761校の国公立大学を対象に実施され、2020年度の取り組みが評価されたものです。昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、工夫を凝らし、大学全体で取り組んできた地域貢献の活動に加え、附属病院での新型コロナウイルス陽性患者への対応などの地元地域向けの医療の取り組みが評価され、前回2019年調査の全国5位からのさらなる躍進につながりました。

中部地区で唯一、医・薬・看護の医療系3学部を有する本学の長を生かした医療分野での貢献をはじめ、地域と連携したSDGs推進を支援するイベントの開催やSDGsセンターの設置、公開講座に代わり生涯学習機会を提供する書籍「名市大ボックス」の出版など本学の新たな社会貢献活動も動き出しています。このたびの地域貢献度ランキング全国1位は、日頃よりご支援いただいている地域の皆さまと一緒に達成したものです。今後、さらに注目される本学の社会貢献活動に、より一層のご協力をよろしくお願いいたします。

02

救急・災害医療センター(仮称)建設に向けて、 立体駐車場工事進行中！

名古屋市立大学病院では、2025年度に予定されている救急・災害医療センター(仮称)(以下「新棟」)の開棟に向けて実施設計に取り組んでいます。また、新棟の工事期間中に不足する駐車台数を補うために、2021年7月から立体駐車場の整備工事を開始しております。立体駐車場は約400台の駐車が可能となっており、2022年4月の運用開始を目指しています。立体駐車場は利用者により優しい設計となっており、空車スペースが見つけやすいよう一方通行の動線確保や、スムーズな出庫ができるように自動車ナンバーを識別する精算システムの導入を予定しています。新棟の開棟に合わせてさらに平面駐車場も整備する予定となっており、最終的に敷地内の駐車台数は現状の377台から約500台となります。立体駐車場の工事期間中は当院の利用者や近隣の方々にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



立体駐車場 イメージ図

03

テレビ・新聞で大きく報道！ ～東部医療センター・名市大病院のコロナ対応～

新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令される中、東部医療センター、名古屋市立大学病院(以下「名市大病院」)でのさまざまな取り組みがテレビや新聞等で大きく報道されました。この記事では、その一部を紹介します。2021年8月25日(水)放送のNHK「ニュースウオッチ9」および同日・9月9日(木)放送のNHK名古屋「まるっと!」では、第5波医療逼迫状況下での東部医療センターの取り組みが放送されました。また、9月9日(木)放送の日本テレビ「news zero」・中京テレビ「キャッチ!」、9月12日(日)放送の日本テレビ「シューイチ」では、新型コロナウイルスに感染した妊

娠37週の女性が東部医療センターに緊急搬送され、医師らが感染予防機能の付いた防護服を着用して緊急帝王切開手術に臨み、無事男の子が誕生する様子が放送されました。9月8日(水)の中日新聞には、新型コロナウイルスに感染した患者の心のケアをいかに行うかという課題に対して、名市大病院で結成されたサポートチームと現場の医療者が協力して取り組む様子が掲載されました。他にも、名市大病院の医師らが高齢者施設を回り感染対策を指導する様子や、名市大病院医師のコロナ関連記事へのコメント等、多数取り上げられています。

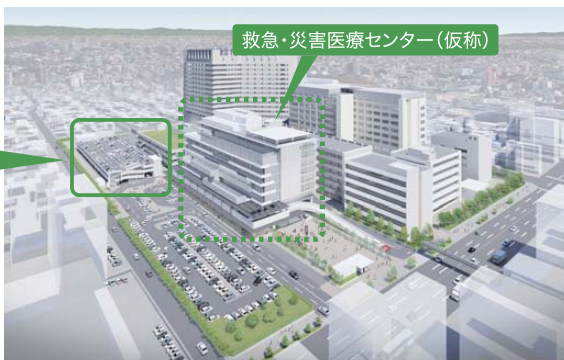
【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。

本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。



感染対策を講じた市民公開講座の様子



救急・災害医療センター(仮称)

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

DATE 2021.10.21



新型コロナウイルスワクチン 大規模集団接種会場閉場式にて 名古屋市より感謝状が贈られました!

新型コロナウイルスのワクチン大規模集団接種会場となっていたパロマ瑞穂スタジアムにおいて、2021年10月21日(木)に閉場式が行われました。同スタジアムでは、7月1日(木)~10月20日(水)の112日間、のべ約3,400名の医療従事者により計155,053回のワクチン接種が実施され、本学からは医師・歯科医師・看護師・薬剤師のべ約2,900名を派遣して予診・接種・薬剤管理等の業務に従事しました。こうしたワクチン接種事業への貢献に対し、名古屋市より感謝状が贈られました。



感謝状を手にする中田副市長(左)と都理理事長(右)

DATE 2021.12.10



ついに10巻にまで到達! 名市大ブックス第9・10巻を出版!

2021年12月10日(金)、社会貢献活動の一環として出版を続けている「名市大ブックス」シリーズの第9・10巻を出版しました。第9巻「いのちを守る高度・専門医療~東部医療センターの挑戦」、第10巻「地域に根ざし、寄り添う医療~西部医療センターの挑戦」は、2021年4月から本学の附属病院になった東部・西部医療センターの医師らが中心に執筆し、両センターの特長を存分に生かした内容となっています。ついに10巻目を数える「名市大ブックス」シリーズは、毎巻ベストセラーとして読者に親しまれています。生活に役立つ健康知識や教養を皆さまに届ける取り組みとして、これからも続けていく予定ですので、今後の展開にぜひご注目ください!



第9巻
いのちを守る
高度・専門医療
~東部医療センターの
挑戦



第10巻
地域に根ざし、
寄り添う医療
~西部医療センターの
挑戦

大学院 経済学研究科



NHK大河ドラマ「青天を衝け」に 資料を提供しています!

2021年2月14日(日)よりNHK総合で放映されている大河ドラマ「青天を衝け」。「近代日本経済の父」と呼ばれる実業家・渋沢栄一の生涯を描いた物語です。この番組に、経済学研究科の横山和輝准教授が、金融政策や経済史に関する資料を提供しています。最終回まであと少し、お見逃しなく!

教学IRの取り組みを進めています



本学の教学IR(※)の取り組みが文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択されました。この取り組みは、学内の各部署で管理されているさまざまな学修データを集める仕組みを構築し、集約した学修データをTableauというツールを用いて分析・可視化を行い、結果を学生・教員にフィードバックするものです。これらの取り組みを通して、本学の教学IRをさらに推進し、大学での学修をサポートする仕組みや体制の確立を目指していきます。

(※)IR=Institutional Research
大学の教育におけるさまざまな情報を収集、分析することにより、学内の意思決定や改善活動を支援する取り組み

記事はこちらからご覧ください



↑陽性…妊娠37週の女性が
緊急帝王切開
(日テレNEWS24)

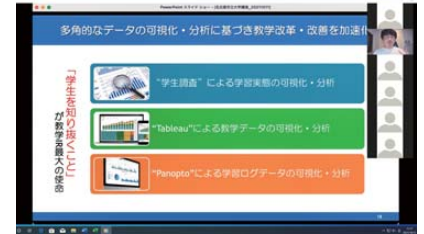


↑コロナ患者、心どうケア
名市大病院、傾聴を重視
(中日新聞Web)

DATE 2021.9.21/10.11

第14回・15回 教育改革フォーラムを開催しました

名古屋市教育委員会との連携協力協定に基づき、今年度、本学の教員2名と市立高校の教員2名が、相互に向い教育活動等を行う人事交流を行っています。2021年9月21日(火)、「高大連携の新しい地帯を拓く―名古屋市教育委員会と名古屋市立大学の挑戦―」をテーマに第14回教育改革フォーラムを開催しました。人事交流による4名の教員によって講演が行われ、高等学校における新しい教育実践、今年度前期の研究・教育実践の成果、人事交流の今後の課題等について発表されました。10月11日(月)の第15回教育改革フォーラムでは、関西大学より教育推進部の山田剛史教授をお招きし、「教学IRをどう理解し、実践するか」をテーマにご講演いただきました。講演後のアンケートでは、「教学IRとは何か、具体的にはどのような活用方法があるか理解できた」「他大学の運用状況が学べた」などの声があり、教学IRについて教職員が関心を持つきっかけになりました。



第15回教育改革フォーラムの様子

DATE 2021.10.9-11.14

令和3年度 市民公開講座を開催しました

2021年10月9日(土)～11月14日(日)にかけて、令和3年度市民公開講座を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための開催基準に従い、残念ながら第1回、第2回の講座は中止としましたが、第3回～第9回の講座は、定員を制限し万全の感染対策を行った上で、開催することができました。7研究科及び附属病院を持つ本学ならではの講座として、「健康」「子育て」「AI」などの多彩なテーマをそろえ、総勢243名の受講者にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。



令和3年度 市民公開講座の様子

DATE 2021.7.26-8.26

令和3年度 大学丸ごと研究室体験を開催しました

2021年7月26日(月)～8月26日(木)にかけて、名古屋市立高校を対象とした、大学水準の専門分野に関する実験などを体験する「大学丸ごと研究室体験」を医学研究科、薬学研究科、理学研究科にて開催しました。今年度も100名を超える高校生が参加し、研究室体験当日は、どの講座においても積極的に意欲的な高校生の姿が見受けられ、高校での学習意欲や進路に対するモチベーションを高める有意義な時間を提供することができました。

講座を担当した教員からは、「意識が高い高校生とレベルが高い議論ができた」「自身のアイデアによって検証するという研究の醍醐味を体験してもらえた」などの感想がありました。



医学研究科講座の様子

DATE 2021.8.5



目を閉じる実験に参加する児童

大学院 人間文化研究科 ようこそ大学へ!プロジェクト ―施設等の子どもたちへの学習支援―

2021年8月5日(木)に「ようこそ大学へ!プロジェクト」を開催しました。これは、人間文化研究科の谷口由希子研究室が中心となって実施しているプロジェクトで、児童養護施設等の子どもたちが「1日名市大生」となって大学の雰囲気を経験することで、学習支援と高校・大学進学への動機づけを促すことを目的とした名古屋市との共同企画です。

当日は小学5年～高校3年の36名が参加し、楽しそうに学生気分を味わう姿が印象的でした。

DATE 2021.8.6-9.24



講義風景(ロボット・AI・IoT×財務会計)

都市政策研究センターが 「ロボット・AI・IoT導入経営人材育成講座」を開催しました

2021年8月6日(金)～9月24日(金)にかけて、名古屋市・名古屋工業大学との連携事業として、企業の経営者層を対象にロボット・AI・IoT導入経営人材育成講座(全8回)を開催しました。ロボット・AI・IoTに精通した本学の各研究科の教員9名により、AIの基礎となる機械学習や個人情報保護・情報倫理の重要性、ロボット基礎や産業応用事例の紹介、信号・画像処理分野におけるAIやIoTの導入事例など、ロボット・AI・IoT導入の計画や検討に必要な基礎・応用知識を学ぶ多彩な講義を開講しました。熱心な受講者からは質問が飛び交い、「有益な講義だった」「新鮮な知識を得られることが嬉しい」との声も聞かれ、好評を博しました。

DATE 2021.11.8-11.14

都市政策研究センターが 「2021年度シンポジウム」を開催しました

「DX時代における都市の可能性」をテーマに開催したシンポジウムをYouTubeにて配信しました。KDDI株式会社の岡田宏氏による「都市・交通政策において活用が進むコネクティッドデータをテーマとした基調講演に続いて、パネルディスカッションでは経済学研究科 鵜飼宏成教授のコーディネートの下、一般社団法人中部経済連合会専務理事 小川正樹氏、名古屋市総務局長 難波伸治氏、芸術工学研究科 横山清子教授の3名が、産官学の立場からDX時代の都市における役割について議論を交わしました。当センターでは、今後も都市の課題に関する情報の発信を進めていきます。



ディスカッションの様子
(左から)鵜飼教授、難波総務局長、小川専務理事、横山教授

DATE 2021.7.21



大学院 芸術工学研究科

新型コロナ病棟の患者を応援するランチョンマットを提供



(上)高野さんのイラスト
(下)ひまわりのイラスト

病棟の内装などに芸術を取り入れる「ヘルスケア・アート」が専門の芸術工学研究科 鈴木賢一教授が、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる東部医療センターの病棟に、病院食トレーに敷くランチョンマットを提供しました。デザインは、同研究科博士後期課程3年で彫刻家の高野真悟さんが手がけ、表面にひまわり、千種公園の植物や虫のイラストを施し、裏面にはナンプレや短歌などを添えて、病室などでも楽しめるよう工夫しました。モノトーンの病室で長時間過ごす患者さんの不安解消に役立つと喜ばれています。

DATE 2021.9.8



瑞穂警察署と「大規模災害発生時における施設の一時使用に関する覚書」を締結しました

2021年9月8日(水)、瑞穂警察署との「大規模災害発生時における施設の一時使用に関する覚書」の締結式が同署内で開催されました。本覚書は、地震・風水害などの大規模災害発生により瑞穂警察署庁舎が使用できなくなった場合に、警察署の機能確保のため、滝子(山の畑)キャンパス内の学生会館や駐車場などのスペースを瑞穂警察署が一時的に使用できることを取り決めたもので、現地警察本部の設置や、全国から集まる救援隊などの駐車場としての使用が想定されています。出席した郡理事長からは、「市民の安全を守ることは大切なことであり、今後の大学と警察のさらなる連携につなげていきたい」とのお話がありました。



覚書締結の様子
瑞穂警察署 相馬署長(※締結時)(左)、
本学 郡理事長(右)

DATE 2021.11.3



大学院 理学研究科 サイエンスパートナーシップイベント

「生命の源としくみを探る」を開催しました

2021年11月3日(水)、中高生を対象に市科学館でサイエンスパートナーシップイベント「生命の源としくみを探る」を開催し、55名の参加がありました。本学からは医学研究科 奥野友介教授と理学研究科 中務邦雄准教授が、科学館からは小林修二学芸員が、ウイルスやたんぱく質、宇宙といったさまざまな切り口から生命の源としくみについて講演しました。講演では、講師の研究内容や科学館の展示について紹介され、参加者が熱心に聞き入る様子が印象的でした。講演後には科学館展示自由見学のほか、「国際宇宙ステーション」に関するプラネタリウム観覧が行われ、生命科学やその研究への関心を深めてもらう良い機会となりました。



講演会の様子

DATE 2021.8.11/12



大学院 理学研究科

中学生 プログラミング教室を開催しました

2021年8月11日(水)・12日(木)に、名古屋少年少女発明クラブと本学との共催で中学生プログラミング教室を開催しました。理学研究科 渡邊裕司准教授が講師を務め、中学生48名がパソコンを操作しながら、プログラミング言語Python(パイソン)を用いたプログラミングの基礎から機械学習による手書き数字の認識までを学びました。感染対策に十分に配慮した上、オンラインではなく対面で開催したため、直接受講者の反応を見ながらアドバイスすることができました。中学生がプログラミングに熱心に励む様子もうかがえ、その姿に明るい未来を感じました。



熱心にプログラミングする中学生たち

DATE 2021.8.16-8.26



NCUグレード・スキップ・チャレンジ2021を開催しました

2021年8月16日(月)~8月26日(木)にかけて、名古屋市立高校の生徒を対象とした、大学水準の調査・研究活動を体験する、NCUグレード・スキップ・チャレンジ2021を人文社会学部、経済学部、看護学部、芸術工学部にて開催しました。普段経験できないような内容の講座を体験し、参加した高校生は非常に熱心に取り組んでいました。また、講座を担当した教員からは、「高校生の聞く力、問う力の向上につながった」「大学生とのグループワークも、しっかり取り組んでいた」、参加した高校生からは、「大学がどんなところなのか学ぶことができた」「進路の参考になった」などの感想をいただいています。



看護学部講座の様子

DATE 2021.8.17

名古屋市立大学病院

名市大病院に支援型自動販売機が設置されました!

2021年8月17日(火)、名古屋市立大学病院内に日本小児がん研究グループ(JCCG)と株式会社伊藤園のコラボレーションにより、JCCGオリジナルデザインの動物の絵をラッピングした支援型自動販売機が設置されました。この自動販売機で飲料を購入すると、売り上げの一部がJCCGに寄付され、小児がんの治療・研究に活用されます。飲料1本から寄附ができますので、機会がありましたらぜひご購入ください。



動物の絵をラッピングした自動販売機

芸術工学部



「卓展2021」をオンライン開催しました！

卓展は、芸術工学部の学生たちが自ら作品展示会を主催することで、創作活動や学びを発信し、学内のクリエイティブの向上を図ることを目的とした展示会です。例年、北千種キャンパスにて実物を展示していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き2021年9月1日(水)～9月30日(木)までオンライン開催しました。建築からプロダクト、メディアデザインに至るまで、幅広いジャンルのデザイン卓が、ウェブ会場とバーチャル会場とで作品を公開しました。また、教員からの作品評価も行われ、参加学生に単位も付与されました。



芸工棟を模したバーチャル空間・バーチャル芸工棟の展示風景



Aura車「連結型パーソナルモビリティ」



とぼせ!車「ディベート用デバイス」



バーチャル空間に展示された出版物



バーチャル空間上で体験できる建築提案



HARO車
「雨天時のユーザービリティを考慮したバス停」



でじてじ車「シューティングゲーム」



Pag車「香に着目したアウトドアグッズ」

大学院 芸術工学研究科

栗原研究室が映画祭で受賞ラッシュ！



芸術工学研究科 栗原研究室の作品が、海外の映像祭で多数受賞しました。同研究室は映像作品の制作技術だけでなく、そこで表現される内容/社会的メッセージを大切にしております。車椅子生活の様子を描く作品やLGBTの問題、アダルトチルドレン症候群などさまざまなテーマに挑戦しており、今年度はSDGsをテーマにした作品も多く制作しています。

映画祭名	作品名	受賞内容
第4回 Maykop国際映画祭(ロシア)	「ANGEL -車椅子の夏-」	入選
アムステルダム短編映画祭	「Ghoul」	最優秀学生映画賞
香港インディーズ映画祭	「Ghoul」	学生映画部門優秀賞
Independent short awards Los Angeles	「Self-portrait Diary」	銅賞
カナダトロントタミール映画祭	「Water story」	佳作
Spain Film Connect (スペイン映画祭)	「正しい面接(英語題 Interview)」	決勝進出
シヤンバル国際映画祭	「Inner child」	劇映画部門入選

大学院 芸術工学研究科

小鷹研究室、作間研究室が名古屋電脳博覧会に出展しました



↑出展作品はこちらからご覧ください

2021年8月26日(木)～9月5日(日)、市民ギャラリー矢田にて、県内の芸術系5大学の学生・卒業生によるデジタルメディア作品の展示会「名古屋電脳博覧会」が開催され、小鷹研究室、作間研究室が出展しました。芸術工学研究科修士課程1年の元橋洸佐さんは、体を少し傾けただけでも落下するような感覚に陥るVR装置、同研究科博士課程1年の佐藤優太郎さんは、カニのイラストに手指を乗せて動かすとカニと一体化したような錯覚を覚える作品を展示しました。コロナ禍での開催でしたが、多くの来場者実際に体験していただき、今後の実験に大いに役立つ意見をいただきました。

市民ギャラリー矢田のツイッターより 出展作品



大学院 薬学研究科

コロナ禍で一時帰国の研究員・松野文香さんに 名古屋市大・名工大の連名で特別履修証明書を授与！



特別履修証明書授与式にて
(左から)名古屋工業大学 木下学長、松野さん、本学 郡学長

2021年8月18日(水)、薬学研究科 林秀敏研究室等でフッ素化学の研究を行っていた松野文香さんに、本学と名古屋工業大学との連名で特別履修証明書が授与されました。松野さんは、カナダのプリティッシュコロンビア大学で化学を専攻していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年の夏、一時帰国を余儀なくされたため、その期間、本学と名古屋工業大学に研究員として在籍して研究を続けました。研究成果は学会で発表された他、海外の学術誌にも掲載されました。こうした研究の成果や熱意が評価され、コロナ禍で異例の2大学連名での証明書授与に至りました。

学生の受賞

※学年は受賞時

大学院 芸術工学研究科

XR CREATIVE AWARD 2021

優秀賞(学生部門)

<受賞者>

芸術工学研究科
博士前期課程1年
今井 健人さん



NHK総合「世界!オモシロ学者のスクリーン2」でも放映された今井さんの作品「XRAYSCOPE」

大学院 芸術工学研究科

第2回 NCUアジア拠点校シンポジウム2021

Excellent Poster Award 第1位
Poster Award 聴衆賞 第1位

<受賞者>芸術工学研究科 博士前期課程1年
YUNIAR AFIFA NUR さん



令和3年度 秋の叙勲



教育研究や医療における長年の功労により、以下の方々が瑞宝章を受章されました。
ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

瑞宝中級章

(写真左から)

受章者: 塩見 治人

名古屋市立大学名誉教授

(元 名古屋市立大学経済学部長、図書館長、学生部長)



瑞宝双光章

(写真左から)

受章者: 平岡 翠

元 名古屋市立大学病院看護部長

受章者: 佐藤 茂

元 名古屋市立大学病院診療技術部臨床検査技術科技師長

受章者: 廣瀬 保次郎

元 名古屋市立大学病院診療技術部部長兼放射線技術科技師長



名市大発高インパクト論文表彰 / 国際共著論文プラス1運動表彰 / トップ1%論文表彰



研究力の強化および国際的な評価の上昇に関する機運を高め、世界大学ランキングの上昇を目指すことを目的に表彰するものです。

■名市大発高インパクト論文表彰

特に影響の高い論文を著した研究者を表彰

医学研究科(筆頭) 助教	津田 香那
医学研究科(責任) 教授	稲垣 宏
医学研究科(筆頭) 助教	小椋 俊太郎
薬学研究科(筆頭) 准教授	田上 辰秋
薬学研究科(責任) 教授	尾関 哲也
経済学研究科(筆頭・責任) 准教授	坂和 秀晃
人間文化研究科(筆頭・責任) 講師	Andrea Castiglioni
看護学研究科(責任) 教授	樋口 倫代
理学研究科(責任) 教授	鎌田 直子

※筆頭: 筆頭著者、責任: 責任著者

■国際共著論文プラス1運動表彰

国際共著論文数で特に顕著な業績を収めた研究者を表彰

医学研究科 教授	齊藤 貴志
医学研究科 教授	飯田 真介
薬学研究科 教授	山村 寿男
経済学研究科 教授	板倉 健
芸術工学研究科 教授	青木 孝義
看護学研究科 准教授	金子 典代
理学研究科 教授	湯川 泰

■トップ1%論文表彰

出版年別のFWCI(当該論文が類似の論文と比較して、どの程度引用されているかを示す数値)が世界全体の上位1%に含まれる論文の著者のうち、特に顕著な業績を収めた研究者を表彰

医学研究科 教授	野尻 俊輔
医学研究科 教授	森田 明理
医学研究科 教授	松川 則之

国際交流

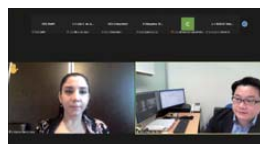
INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE



第2回NCUアジア拠点校シンポジウム2021を開催しました

2021年8月25日(水)・26日(木)、名古屋市立大学や海外大学の研究者らが近未来の労働環境について研究成果を発表する「SDGs研究シンポジウム(第2回NCUアジア拠点校シンポジウム)」をオンラインで開催しました。2019年12月に続き2回目となった今回は、SDG3(すべての人に健康と福祉を)、SDG8(働きがいも経済成長も)、SDG11(住み続けられるまちづくりを)を対象に、「働きながら元気になれる社会をデザインする」をテーマとして開催しました。

本学に加え、海外拠点校であるハルリム大学(韓国)、サント・トーマス大学(フィリピン)、ハジェテベ大学(トルコ)、プリンスオブスカラー大学(タイ)などからのべ523名の研究者や学生が参加しました。近未来の労働環境について各国での現状と取り組みの報告が行われた後、AI・ロボット工学・センサー技術・ビッグデータ・人間工学を活用した研究成果が発表されました。



ハジェテベ大学(トルコ)による発表



学長あいさつ

タイと日本の大学生が近未来の労働環境について議論するオンライン合同ワークショップを開催!

2021年7月21日(水)に、本学近未来労働環境デザイン拠点を中心となり、タイと日本の大学生が近未来の労働環境について議論する合同ワークショップを開催しました。

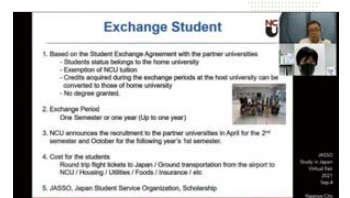
当日は、本学に加え、タイの国立大学であるプリンスオブスカラー大学、岐阜市立女子短期大学の学生54名が参加しました。7つのグループに分かれてディスカッションが行われた後、10年後、そして25年後の「労働しながら元気になる労働環境」についてグループごとにプレゼンテーションを行いました。参加した学生からは「10年後はもっとオンラインでの仕事が進んでいると思うが、オンラインの便利さと対面の良さを生かせるオフィス作りが重要」「女性が結婚、出産後も職場に復帰できる環境作りや、残業や休日勤務がなくプライベートが確保できる環境作りが必要」などの意見が発表されました。



学生によるプレゼンテーションの様子

2021年度 JASSO主催日本留学オンラインフェアに参加しました

2021年9月4日(土)、日本への留学を希望する海外の学生等が多数参加する「JASSO(日本学生支援機構)主催日本留学オンラインフェア」が開催されました。本学は英語のライブセッションに参加し、本学の概要や入試の仕組み等について紹介しました。本学のセッションは全世界に配信され、のべ239名に視聴されました。同フェアへの参加は初めての試みでしたが、普段接することのできない世界各国の方々へ本学を紹介することができ、大変有意義な機会となりました。



ライブセッションの様子

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。



開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
2.15 TUE	なごや看護生涯学習公開講演会 テーマ:“ともに歩む”ということ 一意思決定を支えるナースのやくわりー 講演者:北海道医療大学 名誉教授 石垣 靖子 氏	18:00~19:30 さくら講堂 ※対面およびZoomによる遠隔ライブ セミナー形式 費用:1,000円 定員:300名 対象:看護職者、保健医療福祉関係者	メールでお申し込みください。 申込期限:2022年1月17日(月) 詳細はウェブサイトをご覧ください。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/index.html TEL:853-8042 メール:n.center@med.nagoya-cu.ac.jp
2.19 SAT	開学70周年記念式典 第1部:記念式典 第2部:記念講演会 講演テーマ:SDGsを考える~創造する未来~ 講演者:国際協力・ジェンダー専門家 大崎 麻子 氏	14:15~17:00 (記念式典・記念講演会) 名古屋マリオットアソシアホテル 費用:無料 対象:どなたでも(定員:100名予定) ※申込者多数の場合は、抽選となります。	インターネット(名古屋市電子申請サービス)、 FAX、往復はがきのいずれかで お申し込みください。 申込期限:2022年1月14日(金) 詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。  ↑名古屋市電子 申請サービス
2.26 SAT	SDGs IDEA FORUM 2021 内容:SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を 大学生のアイデアで解決に導くプロジェクト	さくら講堂 対象:名古屋市内にキャンパスのある 大学・短期大学の学生	申込期限:2021年12月31日(金) 詳細はウェブサイトをご覧ください。 

開学70周年記念事業へのご寄附 ありがとうございました

■個人 非公表 畑野 克一郎 様、服部 朝子 様

寄附顕彰

大学振興基金

■個人 10万円以上 山田 秀一 様
非公表 荒木 一郎 様、大島 奈津子 様、薫 祥哲 様、
小汐 勝己 様、田原 直彦 様、土井 祐美子 様

名古屋市大生みらい応援基金

■個人 5千円以上 樋澤 吉彦 様
非公表 坂本 雅樹 様、堀本 恵子 様
■団体 非公表 尾崎ハウス工業株式会社 様

※五十音順。2021年7月1日から9月30日までに寄附をいただき、公表に同意された方。 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日
が上記期間に該当する方。 ※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金
された日が上記期間に該当する方。



教員著書・発行物紹介



①「循環器医のための実践臨床循環生理学」

著者: 東部医療センター病院長
名誉教授(元 医学研究科 教授) 大手 信之
出版:2021年2月 メジカルビュー社

②「薬学生の物理化学」

編著者:薬学研究科 教授 平嶋 尚英 他
出版:2021年9月 培風館

③「日本金融百年史」

著者:経済学研究科 准教授 横山 和輝
出版:2021年8月 筑摩書房

④「新しい歴史教育論の構築に向けた日独歴史意識研究 —構成的意味形成を図る日本史授業開発のために—」

著者:人間文化研究科 研究員 宇都宮 明子
出版:2020年12月25日 風間書房

受賞

※受賞期間:2021年6月頃~10月頃
※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科

癌免疫外科研究会 第42回 癌免疫外科研究会 奨励賞

消化器外科学分野
病院助教
林 祐一

・一般社団法人日本抗加齢医学会 第21回 日本抗加齢医学会総会 最優秀演題賞

・日本薬学会東海支部 2021年度
学術奨励賞

臨床薬剤学分野
講師
片岡 智哉

第30回 日本小児泌尿器科学会総会・ 学術集会 会長奨励賞

腎・泌尿器科学分野
助教
岩月 正一郎

■名古屋市立大学病院

令和3年 愛知県看護功労者表彰

看護部
副看護部長
福留 元美

■薬学研究科

第7回 日本平滑筋学会白鳥常男賞

病院薬剤学分野
講師
堀田 祐志

■芸術工学研究科

第9回 カーボンニュートラル大賞 選考委員会「選考委員特別賞」

准教授
尹 奎英

日本食品化学学会 第27回 総会・学術大会 若手優秀発表賞 口頭発表部門

実験病態病理学分野
助教
加藤 寛之

4th International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Hodgkin Lymphoma (ISCAHYAL), June 28-July 2, 2021 BEST POSTER AWARD

新生児・小児医学分野
助教
亀井 美智

・第30回 日本小児泌尿器科学会総会・ 学術集会 会長奨励賞

・第30回 日本小児泌尿器科学会総会・
学術集会 学会賞 症例報告部門
・日本小児泌尿器科学会
第9回日本小児泌尿器科学会
優秀論文賞 症例部門

小児泌尿器科学分野
助教
西尾 英紀

■人間文化研究科

2021年度 日本学校教育学会賞

研究員
宇都宮 明子

JAR (Japan Architectural Review) 論文賞 (2020 Best Paper Award)

教授
青木 孝義

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ
事務局大学管理部企画広報課までお寄せください!

▶▶▶ E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp